

みのもんたが「暴力団追放」を 池袋で訴える！

～ 暴力団追放決起大会 開催 ～

本日、東京信用金庫本店で、区民、事業者、警察、豊島区が一致団結し、「暴力団追放決起大会」が開催された。

本大会は、WHOセーフコミュニティ認証取得を目指す豊島区の暴力団排除・国際犯罪組織根絶に対する取り組みの一つだ。

日本有数の繁華街池袋がある豊島区では、「日本一安全・安心なまち」を目指し、地域住民と区・警察とが協力し、環境浄化パトロールや組織犯罪根絶協議会の開催など暴力団対策を強化している。

また、昨年「豊島区生活安全条例」、「豊島区営住宅条例」、「豊島区立福祉住宅条例」、および「豊島区立区民住宅条例」を改正し、暴力団排除条項を盛り込んだほか、豊島区発注の契約や区営住宅等の暴力団排除を目的とした警視庁との合意書を締結した。

本日の決起大会では、暴力団追放宣言、特別講演、立教大学応援団によるアトラクション等が行われた。

大会の後半には、一日池袋警察署長となったタレントのみのもんた氏が、グリーン大通りを参加者とともにパレードをしながら、暴力団追放を訴えた(参加者数約 500 人)。

日 時	9 月 17 日 (金曜日) 午後 2 時～5 時	
場 所	東京信用金庫本店 大ホール (東池袋 1-12-5)、グリーン大通り	
主 催	池袋管内組織犯罪根絶対策協議会、池袋交通安全協会、池袋防犯協会 豊島区、池袋警察署	
当日の様子 参加者の声 など	<p>会場では、区民、区内事業者、警察、区職員等が一同に会し、「暴力団追放」の共通認識を再確認した。</p> <p>第一部の主催者挨拶で、高野之夫豊島区長は、「セーフコミュニティ認証を目指している豊島区。全てのデータを把握し、どんなに小さなことでも、事件にそして不安につながることは全て抑制していくことが大切だ」と話した。また、池袋地区組織犯罪根絶対策協議会会長齊木勝好氏は、「地域人が街を守るため、理想の街を目指すため、一致団結する時が来ました。池袋の地域力を示す絶好の機会になる」と話した。早戸和道池袋警察署長は、「この決起大会を契機に、明るい街づくりを進めるため、みなさんに共通認識を持っていただきたい」と話した。</p> <p>第 3 部では、みのもんた氏の一日池袋署長委嘱式が行われた。みの氏は、「池袋が新しい明るい街になるように務めたい」と話した。大会の最後には、みの氏を乗せたオープンカーとともに参加者が横断幕を掲げながらグリーン大通りをパレードした。</p>	
写 真 * 写真はメ ールで送り ます	パレードの様子 	池袋駅前でみのもんた氏とともに 
問 合 せ	治安対策担当課	